Wakasagimatic DDM T

取扱説明書

SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ　仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10　TEL.(048)772-6662
※仙台営業所管轄のお客様のご連絡は埼玉営業所で承ります。

株式会社シマノ　埼玉営業所
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1　TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ　東京営業所
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17　TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ　名古屋営業所
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21　TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ　大阪営業所
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77　TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ　中国営業所
〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18　TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ　四国営業所
〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1　TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ　九州営業所
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6　TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部　本　社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-861130(ハローイイサオ)フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538(有料)をご利用ください。受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00(土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは http://www.shimano.com です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。
また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan (140825)　043

■商品のお問い合せ・アフターサービスのご案内

●リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします。(例／製品名：ステラ1000S　商品コード：02425　製品コード：SD83B012　部品番号：2　部品名：スプール)

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード／製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

お取り扱い上の注意

Wakasagimatic DDM-Tは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、末永くご使用ください。

■安全にお使い頂く為に

●本機は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店又は弊社フリーダイヤルにご相談ください。
●お使いになる人や他の人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、本取扱説明書や外箱に表示された内容は必ずお守りください。本文中、及び外箱のマークの意味は次のようになっています。

《表示の説明》

警告　この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意　この表示は「人が損害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

■ご使用上の注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 警告

リール本体について

●本機は淡水の止水状況でのワカサギ釣り専用リールです。河川やトローリングなど流水の中では使用しないでください。故障や事故の原因となります。
●分解・修理・改造等をしないでください。故障や火災・感電・けがなどの原因となります。
●スプールを外した状態でモーターを回転させないでください。モーターチューブの破損、スプール台の磨耗・発熱などから火傷・火災や故障の原因となります。
●スプールを外した状態やスプール固定ナットをゆるめた状態で**A**・**B**ボタンを押し続けないでください。
●万が一、使用中に異常な音、異常な発熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が起こりましたら、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。
●電池が新しいにもかかわらず、スプールの回転が著しく低速であったり、回転しない場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。
●デジタルカウンター部は防水仕様となっていますが、リール本体は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると感電・火災などの原因となります。
●移動時や使用しない場合は電源をOFFにしてください。誤って**A**・**B**ボタンを押し続けたり、クラッチレバーが巻き上げ位置となった場合、モーターが発熱し、事故・火災や電池の液漏れなどの原因となります。
●使用中、根掛かりや大きな魚が掛かる等の高負荷が生じた場合、ただちにモーターの運転を止めてください。発熱などから火傷・火災の原因となります。
●本体・電池共に、保管の際は子供や幼児の手の届かないところに保管してください。万が一電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
●水に濡らしてのご使用はお止めください。
●電池ボックス内に水が溜まると漏電、電解腐蝕の原因となり機能に影響を与えます。水が入っている場合はすぐさま電池を抜き取りふき取ってください。
●デジタルカウンター部は絶対開けないでください。感電の原因になります。故障の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
●分解・改造等は絶対しないでください。火災、感電、けがの原因になります。
●液晶部のレンズ内側に水滴の付着や曇り、ひび割れ、クラックが見られた場合は、使用を止めて修理に出してください。防水機構が壊れています。
●リールに衝撃を与えたり、放り投げたりしないでください。
●リールに目立った損傷、変形、ゆがみがある状態では使用しないでください。
●涼しくて乾燥したところで保管してください。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
●穂先に仕掛けを巻き込んでの竿の破損、その他に関して弊社は一切責任を負いません。

電池について

●指定以外の電池を使わないでください。
●新旧・異種電池の混用はお止めください。液漏れ・破裂・発熱・発火の原因となります。
●電池の極性（＋と－）を逆に入れないでください。
●火の中への投入、加熱、＋と－極間のショートをしないでください。
●電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害を発生する恐れがあります。

⚠ 注意

リール本体について

●釣り以外の目的に使用しないでください。
●糸が勢いよく出ているときは、糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
●勢いよく回転しているスプールには触れないでください。けがをする恐れがあります。
●クラッチレバーを強い力で押し付けないでください。機能障害や割れてけがをする恐れがあります。
●火気やストーブのそば等、高温になる場所で保管・使用はしないでください。変形や故障などの原因になります。
●お手入れ時、シンナー・ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤はご使用にならないでください。変形や故障などの原因になります。
●直射日光・高温・多湿を避けて保管してください。
●落下などの衝撃を与えないでください。破損、内部電子部品の損傷、故障を起こす恐れがあります。
●尻手ロープ取り付け穴に尻手ロープを取り付けた場合でも、強い衝撃で外れる場合があります。お取り扱いには十分ご注意ください。
●巻込防止ガイドに強い衝撃を加えないでください。曲がる恐れがあります。
●糸がスプールの下に挟まった場合は、無理に引っ張らず、電源をOFFにしてスプール固定ナットをゆるめ、スプールを外してから糸を取り外してください。
●何度も巻き上げを繰り返すと巻上げ速度が遅くなる場合があります。
●マグネットの周囲、上に置かないでください。モーターの誤動作、ラインの誤表示する原因となります。
●ご使用の際は必ず尻手ロープを取り付けてください。誤って水中に落下させると故障の原因になります。
●液晶面に力を加えると、防水機能が低下し、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。
●液晶の表面は傷が付きやすいので、画面をふくときは十分に注意してください。
●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。
●本体を改造したりしないでください。電動リールの性能を損ない、安全機能が働かなくなりけがをしたりする恐れがあります。
●船べり停止位置は巻き上げ張力等によってズレる事があります。停止位置がズレてきた場合は「0セット」して補正してください。停止位置がズレると竿の穂先を折ったりする恐れがあります。
●メンテナンス後にドライヤーや発熱器具を使っての乾燥は止めてください。樹脂が変形したりする恐れがあります。

電池について

●長時間使用しない場合は、必ず本体から電池を取り出して保管してください。
●使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの原因となります。
●電池を保管・捨てる場合は、接点部分にテープを貼る等の絶縁を行ってください。
●アルカリ電池を推奨します。マンガン電池ですと使用時間は半分程度となります。
●Ni水素電池等の充電電池を使用した場合は電池残量マークは正確に表示されません。目安として4、5時間の釣行時は予備電池をご持参ください。
●電池マークは目安としてご覧ください。

ロッドについて

●根掛かりは、ロッドを介さず糸を手にとって外してください。その際、糸で手を切る場合がありますので、手袋やタオルで手を保護してください。
●仕掛けを巻き上げる際に、巻き過ぎますとサルカンや仕掛けがロッドのトップガイドに当り破損を招く恐れがあります。巻き上げの際は、トップガイドの先にゆとりを持たせて取り込んでください。
●ロッドは規定サイズのロッド元径をロッド取り付け穴に挿し込み、簡単に抜けないことを確認してください。ゆるんだ状態でご使用になりますと、破損や折れを招く恐れがあります。また使用中、振動によりゆるむ場合がありますので、時々ご確認ください。

仕様

●電池仕様
アルカリ乾電池単４×２本（別売）
連続使用５～７時間、ＤＣ３．０Ｖ以上で動作

※製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

メンテナンスのご案内

●オーバーホール
ベアリングやモーター、モーターチューブは消耗品です。長期間ご使用されますと初期性能が出なくなります。シーズン前にオーバーホールに出されることをお勧めいたします。（有償）

●修理
モーター、モーターチューブはお客様ご自身で交換は出来ません。弊社アフターサービスで交換となります。（有償）

交換パーツ用分解図

部品番号	部品名
1	本体組
2	電池カバー
3	スプール組
4	スプール固定ナット組
5	クッションシート（前）
6	巻込防止ガイド
7	モーターチューブ

Wakasagimatic DDM-Tの特徴

この Wakasagimatic DDM-T はデジタルカウンターが搭載されており、
いろんな便利機能が搭載されています。

1 5cm刻みの水深表示。

マーカーの無い糸をご使用されましても、釣り場の水深が一目で分かります。

2 船縁自動スローストップ。

仕掛けを掴みやすい位置に停止させ、0セットをしてください。次回からもその位置「0.00」で止まってくれますので手返し抜群です。又、止まる手前の50cmからはスローな巻上げに変化しますので、仕掛けが急激に止まってのワカサギのハリ外れを抑えてくれます。

※穂先付近での0セットは行わないでください。

3 巻き上げスピード調整。

巻き上げのスピードを5段階で調整できます。

4 左右巻き上げボタン機能切り替え。

左右のボタン**A**、**B**はそれぞれ「チョイ巻き」「連続巻き上げ」と機能が分かれていますが、お客様の好みにより機能を入れ替えることができます。

5 電池残量表示。

電池残量を3段階で表示します。
釣行前に残量をご確認頂き、楽しく釣りをするためにも必ず予備の電池をご持参ください。標準はアルカリ単四電池2本となっていますが、マンガン電池でのご使用も出来ます。その場合、使用時間、巻き上げ速さが極端に短く、遅くなります。

※**ご注意**　このリールはスプールの回転をマグネットを使ったホール素子と呼ばれる電子部品で読み取っています。従いまして、リールのスプール近辺に他のマグネットを使った製品等を持ってくると誤作動を起こす場合がありますので極力他のマグネット製品から遠ざけてご使用ください。

6 指定糸巻学習機能。

電子制御されておりますので、ナイロン、フロロ、PEの主要な糸の種類、太さ（号数）を選択し、任意の糸の長さを巻き取ることで、リールがご使用になる糸を学習します。

※糸の種類、糸巻き形状、ラインテンションの変動により、デジタルカウンター表示と実際のラインの長さが大きく変わることもあります。目安としてご使用ください。

7 自動棚停止機構。

デジタルカウンターに棚を入力するだけで次回から仕掛けが自動でその棚で止まります。

※棚停止機構は2m以上から有効です。使用環境により、設定した棚位置よりズレが生じる場合があります。

8 船べりアラーム（アラームON/OFF切替可能）。

巻上げ中、水深4mより2m間隔で「ピッ」。水深0mで「ピピッ」と鳴り、仕掛けが船べりに近付いて来るのをお知らせします。竿先を見なくても素早く魚の取り込みに対応が可能になります。

各部の名称と働き

LR切り替え。

A、**B**部分に巻き上げボタンを装備しています。R表示の場合は下記の設定で作動します。（初期設定）

A … **チョイ巻き。**（押している間だけ巻き上げ）

B … **連続巻き上げ。**（一回押すと、船縁まで連続で仕掛けを巻き上げます。）

C/**D**ボタンを同時にチョイ押しすることで**A**、**B**の機能を左右切り替え可能です。

L表示の場合は上記の逆で作動します。

B　FREE/LOCK　A

電池残量マーク。
電池残量をしっかり表示。
アルカリ乾電池単四2本、連続使用で5〜7時間程度ご使用できます。使用状況により短くなる場合がありますので、必ず予備の電池をお持ちください。

※図は説明のために液晶を全部点灯させています。

水深表示。
5cm刻みの水深が表示できます。

スピード調整。
巻き上げのスピードを設定できます。

D　▼▲　MEMO　C
ON/OFF　0-SET

D	C
電源ON（チョイ押し）	0セット（長押し）
電源OFF（長押し）	
学習モード（同時長押し）	学習モード（同時長押し）
学習モード指定値選択（チョイ押し）	学習モード指定値決定（チョイ押し）
	学習モード終了（長押し）
巻き上げ速度変更（チョイ押し）	
左右ボタン切替え（同時チョイ押し）	左右ボタン切替え（同時チョイ押し）

※チョイ押しは1秒未満、長押しは3秒以上押してください。

クラッチ。
手に包み込んだ状態で、人差し指でクラッチ操作が可能。
クラッチOFFの状態でモーターONすると、自動でクラッチはロックになります。

商品コードです。
製品のお問い合わせ、修理の際にお知らせください。

スプール固定ナットはしっかりと締め込んでご使用ください。ゆるめるとモーターが回転しなくなります。緩めたからと言ってスプールフリーが良くなるわけではありません。

FREE/LOCK　MEMO　0-SET　ON/OFF　SHIMANO　03207

タッチスプールカット。
リールを握りこんだまま握りなおすこと無く、人差し指でスプールが触れます。棚取りにめちゃ便利。

ラインストッパー。
糸止め3ヶ所。棚決めの時にご使用ください。

スプール。
ベアリング2個搭載。
軽負荷落下抜群!

尻手ロープの取り付け位置。
尻手ロープが取り出しにくい場合は先の尖った物で引っ張り出してください。

巻き上げボタンA、B。
左右に装備。

※スプール近辺にマグネットを近づけないでください。モーターの誤動作、ラインの誤表示の原因になります。

A　※反対側は**B**ボタンになります。

クッションシート（前）
※付属の専用クッションシートを上図の様に底面に貼ってご使用ください。

電池ボックス。
この部分に単四が2本入ります。

電池ボックスは夢屋「スタンドセット」「ボードセット」に対応しております。デザイン性を損なうことなく装着が可能です。

スプール部分の分解

スプール固定ナットをゆるめて取り外しますとスプールの取り外しが可能です。取り外しの際は右図をご参照ください。

ネジの向きを間違えないようにご注意ください。

※**ご注意**　スプール固定ナットをゆるめすぎると**A**、**B**ボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。締め込んでご使用ください。

操作方法

1 電池の入れ方。

1. 電池カバーを〔**図1**〕の様に外してください。（無理に力を加えると破損する恐れがあります。）
2. ＋−の向きを間違えないように入れてください。〔**図2**〕
3. 電池カバーを〔**図3**〕の要領で閉めてください。（寒い時期にご使用する場合、電池を暖めてからご使用いただくと電池本来のスペックが出ます。）

〔図1〕 押しながら外す
〔図2〕
〔図3〕 閉める

2 電源のON/OFF。

●ON/OFFボタンを3秒以上押すと電源がONします。
●消す場合も同じボタンを3秒以上押せばOFFになります。

3 ご使用になる糸をリールに学習させます。

このリールは電子制御されているリールです。糸を巻かれる場合は巻かれる糸の種類、巻かれる糸の号数を選択していただいた後、お客様任意の糸の長さを巻いていただく必要があります。内蔵している糸の種類、太さは下表を参照してください。

PE	0.09号、0.1号、0.125号、0.15号、0.175号、0.2号、0.25号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号
ナイロン	0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号、1.0号
フロロ	0.15号、0.2号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号

それではさっそく糸巻き学習を始めましょう。
C/Dボタン同時長押し（3秒以上）で学習モードへ
※糸巻き学習モードをキャンセルされる場合、C/Dボタンを同時長押ししてください。水深表示に戻ります。

▼▲ MEMO　**同時に長押し**

① ライン種類の選択

ライン種類が点滅します。
Dボタンを押すごとにPE・ナイロン・フロロが順に切り替わります。
巻かれるライン種類を表示させてください。
Cボタンのチョイ押しでライン種類を決定します。

選択 **チョイ押し**　決定 **長押し**

② ライン号数の選択

ライン種類決定後、ライン号数が点滅します。
Dボタンを押すごとにライン号数が順に切り替わります。
巻かれるライン号数を表示させてください。
Cボタンのチョイ押しでライン号数を決定します。

※図は例です。

選択 **チョイ押し**　決定 **長押し**

③ ライン巻き取り量の入力

続いて「0.00」（巻き取り量）が点滅します。スプールに任意の長さの糸を巻いてください。
巻き取りはチョイ巻きのみです。
巻き取り量が表示されます。

巻き終わりましたらCボタン長押しで学習モードを終了してください。

MEMO　終了 **長押し**

任意の長さ（例）

※**ご注意**　糸を巻かれる場合はスプールに偏って巻かず、均等になるように巻いてください。99.95mまで学習可能です。それ以上の長さは学習できません。

学習モード終了
水深「0.00」が表示されます。

※糸を巻き込みすぎたり、糸を出しすぎた状態で0セットを行われますと糸巻き学習が狂ってしまいます。絶対にお止めください。

4 専用クッションシートを貼りましょう。

付属の専用クッションシートを左図の様に底面に貼ってご使用ください。

5 竿をリールにセットしましょう。

リールの穴径は5mmです。無理をせず竿の取り付け穴に竿を奥まで取り付けてください。無理をして取り付けますと竿を破損する場合がありますので注意して取り付けてください。
振動で緩む場合がありますので、釣りをされている時にも時々ご確認ください。

6 仕掛けをセットしましょう。

ガイドに道糸を通し、仕掛けを結んでください。

※穂先に仕掛けを巻き込まない為に

慣れない間は穂先付近で0セットせず50cm程度余裕を持って行うようにしてください。

※上記設定を行わず、穂先に仕掛けを巻き込んでの穂先破損に関して弊社は一切責任を負いません。

7 0セットを行いましょう。

「0セット」とは仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で、0-SETボタンを長押しすればOKです。次回からはその位置で仕掛けが止まります。又、スローストップが入っていますのでその位置の50cm手前からスローな巻上げになります。

※糸の種類、スプールへの糸巻き形状、諸条件により、カウンター表示水深と実際の糸の長さが変わってしまうことがあります。
※穂先付近ぎりぎりでの0セットはお止めください。ご使用される糸の種類、特にナイロン糸は伸び縮みしますので仕掛けが穂先に巻き込まれ竿を破損してしまいます。
※アラーム機能がONの場合、0セット機能作動時、「ピピッ」と鳴ります。

●又、道糸が途中で切れてしまった「高切れ」の場合も、仕掛けを結び直し、仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で0セットボタンを長押しすると、マイコンが自動で道糸の長さを再検出し正確に表示してくれます。

8 糸の出し方、止め方。

●クラッチを『FREE』に倒すと、スプールフリー状態になり糸が出て、仕掛けを落下させることができます。
底まで一気に落としてしまうとバックラッシュの原因となるので、スプールに指をあて、サミングしながら落とします。
●クラッチを『LOCK』にすると、糸は出ません。（強く引っ張ると出ます）

9 棚を決めましょう。

「自動棚停止を使う」：本製品には自動棚停止が搭載されています。自動棚停止はデジタルカウンター表示 2 m以上で有効です。
使用環境により、設定した棚位置よりズレが生じる場合があります。

●棚停止記憶…停止させたい棚で MEMO ボタンをチョイ押しします。水深表示部分が 2 度点滅すれば記憶完了です。リセットするまではその棚で仕掛けが何度でも止まります。

●棚停止リセット…2 つの方法があります。
① MEMO ボタンを連続で素早く2回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が2度点滅すればリセット完了です。
②水深表示 2m 未満で、MEMO ボタンを1回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が1度点滅すればリセット完了です。
※①のみ、アラーム機能が ON の場合、「ピッ」と鳴ります。

「ラインストッパーを使う場合」：クラッチを「LOCK」にし、スプールもしくはモーターで巻き上げ、棚を決めます。棚が決まったら、スプールに付いているラインストッパーに道糸を引っ掛けます。そうすると次回からも同じ棚で止めることができます。

10 モーターでの巻き上げです。

リールの左右に**A**、**B**ボタンが付いています。どちらを押しても巻き上げ動作になりますが、押している間だけ巻き上げる「チョイ巻き」と一度押すと船縁停止位置まで自動に巻き上げてくる「連続巻き上げ」が分かれています。（もう一度押すと停止します。）
●初期設定では**A**ボタンが「チョイ巻き」、**B**ボタンが「連続巻き上げ」に設定しています。（液晶画面でR表示がある場合、この設定になっています。）
●ボタン**A**、**B**の機能を入れ替えることも可能で、**C**/**D**ボタンを同時に押すと液晶画面のRとLが交互に入れ替わります。
L表示の時は**A**ボタンが「連続巻き上げ」、**B**ボタンが「チョイ巻き」となります。ご自分の使いやすい設定で行ってください。
●連続巻き上げ中に「チョイ巻き」を押すと「チョイ巻き」に切り替わります。その逆は切り替わりません。

又、クラッチがフリー状態で、**A**、**B**ボタンどちらかを押し、巻き上げ動作になるとクラッチは自動で「FREE」から「LOCK」に切り替わり、巻き上げる事が可能となります。

※**ご注意**
水深表示0cm以下ではチョイ巻きしか動作しませんが、穂先巻き込みには十分ご注意ください。
スプール固定ナットをゆるめすぎると**A**、**B**ボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。締め込んでご使用ください。

11 巻き上げの速さを設定しましょう。

巻き上げの際、お気に入りの早さに設定する事が可能です。
各設定は下表を参照してください。

1	2	3	4	5
1.5m/s	1.8m/s	2.0m/s	2.2m/s	2.4m/s

初期設定は**5**となっています。
設定を変えるのは、
Dボタンをチョイ押しすると巻上スピードが変わります。
その日の状況に合わせ設定してください。

※**ご注意**
スピードはあくまで目安です。電池の状況、負荷によっても変化しますのでご自分で設定を調整してください。
チョイ巻き、連続巻き上げ別々の設定はできません。

▼▲ MEMO　UP

12 船縁自動スローストップ。

巻き上げている時、船縁停止位置「0.00」の手前50cmから巻き上げがスローになります。急に止まると、その衝撃でせっかくのワカサギが針から外れてしまう事がありますので船縁自動スローストップ機能が入っております。故障ではございません。

13 さあ釣り開始です。

快適な釣りが行えるよう、実釣前には必ずリールが正常に稼動するか確認して実釣に備えてください。

●道糸は古くなっていないか？
●電池はOKか？予備の電池は持ったか？
●モーターチューブは痛んでいないか、それなりのトルクで巻き上げられるか?
●スプールフリーは完璧か？

楽しい釣りを行うためにも上記程度のご確認をお願いいたします。

■その他の仕様

●船べりアラームON/OFFのしかた

1 電源ONの状態でDボタンを6秒押し続けてください。3秒でカウンターが消灯しますが、そのまま押し続けてください。画面①が表示されましたら、ボタンを離してください。
左記の2種類をDボタンを押すことで選択することができます。（画面①〜②の繰返し）
2 選択した画面で、ボタンを3秒押し続けて水深画面に戻れば完了です。

●電源オートOFF機能
電源ONの状態で1時間放置されますと自動的に電源OFFになります。

●電池残量が少なくなりますと（電圧低下しますと）自動的に電源がOFFになります。巻き上げ等モーターがONになりますと必然的に電圧は降下します。魚が掛かったのに巻き上げられない…とならないよう早めの電池交換をお勧め致します。

●モーターリミッター
船縁停止位置の手前50cm以内で急激に負荷が大きくなるとモーターリミッターが作動し停止します。これは、穂先の巻き込みや穴つりでの氷に仕掛けが引っかかった場合を想定し、止まるように設定しています。リミッターが作動した場合は一旦モーターがOFFになりますが、すぐさま元に戻ります。又、水深表示5m以上でスプール回転が止まったままモーター ONの状態が5秒以上続きました場合にもリール保護の為にモーターを停止させています。故障ではございません。